



雄物川 上流

No.185 発行日 平成21年11月30日
国土交通省 東北地方整備局
湯沢河川国道事務所 十文字出張所
〒019-0522
横手市十文字町字西上38-3
TEL 0182-42-0109
FAX 0182-42-2881

緊急時における オイルフェンス設置訓練実施 ～大仙市出川河川公園～

11月6日(金)大仙市にある出川河川公園で、雄物川の沿川において油流出事故を想定したオイルフェンスの設置訓練が行われました。

訓練は毎年寒くなり暖房などで灯油の使用が増えるこの時期に行っています。

今回の訓練では、県や横手、湯沢、大仙市の担当者をはじめ、広域市町村圏組合消防本部の消防署員が訓練に参加し、オイルフェンスの使い方などを再確認しました。

油流出事故はちょっとした不注意で起こることが多いのです。事故を起こすと、油の回収、処理にかかった費用**1缶当たり約50万円が全て、原因者が支払うこと**になりますので日頃からご注意をお願いします。

参加者が整列している様子



オイルフェンスの設置方法を
模型で説明している様子



実際にオイルフェンスを
設置している様子



※オイルフェンスとは事故や過失によって油が河川や水路に流出した際に、せき止めたり回収する事に使用される道具のことです。

ホームタンクの取扱いにはご注意を!

今年も暖房を使う季節となりました。毎年冬期間の暖房使用に伴う油漏れ事故が発生しております。その原因として暖房器具に給油した際、ちょっと目を離したことによる人的ミスによる発生が大半を占めています。

皆さんひとりひとりが気をつけることで、油漏れ事故を防ぐことができます。

油の流出事故が多発しています!

最近、一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから、灯油などの油漏れが頻りに、河川などに流れ出す事故が増えてきています。そして、その多くが人的ミスによるものです。

油 1缶 50万円!!

事故を起こすと油の回収・処理に約50万円の費用がかかります。そして、その費用は事故を起こした**原因者**が責任を持って負担しなければなりません。

- その場を離れない・目を離さない
ホームタンクなどの給油を行うときは絶対に目を離さないようにしましょう。
- 屋根からの凍雪や降雪時には注意を
給油口の凍結防止のために給油前には必ず屋根を掃除しましょう。
- 配管の場所には目印を
給油機や配管に目印を貼るなど、目印を貼ることで見つけやすくなります。
- 定期点検を受ける
給油機やタンクの点検を受けるようにしましょう。

油漏れ事故を防ぐための心掛け

事故を起こした場合または発見した場合は、お近くの河川や湖沼の係員、市町村役場、消防署、警察署等へご連絡ください。

雄物川水系水質汚濁対策推進協議会 会長 湯沢 湯沢河川国道事務所 湯沢出張所 TEL 0182-75-5340

油の回収・処理にかかる費用(1缶で約50万円)は、油を流した原因者が支払うこととなります!!

油事故を起こした場合や発見した場合は、お近くの消防署・警察署・市町村役場や十文字出張所までご連絡下さい。

湯沢統合堰(湯沢市関口) 工事真っ最中!

平成19年の冬から工事を行っている湯沢統合堰は、今年度右岸側を完成させるため工事の真っ最中です。



右岸側(湯沢市関口)の様子

【統合堰工事の効果】

統合堰の完成のあかつきには、2つの固定堰が1つの可動堰として生まれ変わり、洪水を流す(洪水流下)、水を取る(取水)、魚道(魚の通り道)を確保するなどの治水・利水・環境面の問題が解決されます。

※工事への質問や見学などは十文字出張所までお問い合わせ下さい。